

2026年を迎えて

慈久会理事長

新年明けましておめでとうございます。皆様とともに気分一新した2026年を迎えることが出来ましたことは慶ばしい限りです。

昨年、谷病院では病棟編成を行い、適切な病床数への調整を行うことで一部の病床面積の拡大が得られました。地域の患者さんが安心して治療を受け、自宅や施設へ退院できるお手伝いを続けて参ります。

医療業界が置かれる立場は非常に厳しく、人材不足や物価高騰は他業種と同様に悩まされる事態です。本年、診療報酬改定および介護報酬臨時改定がありますが、これまで同様の医療・介護を維持するためにさらなる公的支援を期待します。

医療介護は地域住民にとって必要不可欠です。慈久会は本宮の地に於いて医療福祉サービスを提供することが求められており、今後も尽力する責任があります。業務の効率化や環境整備を行い、継続した医療介護が提供出来るよう職員一同協力しながら歩んで参ります。

今年は午年です。慈久会も皆様も一段と飛躍できる年になりますよう願っております。本年もどうぞ宜しくお願ひいたします。